

水稲早生品種「つや姫」の特性

表. 「つや姫」の特性概要

品種名	つや姫	コシヒカリ
形質		
出穂期 (月. 日)	8.01	8.02
成熟期 (月. 日)	9.10	9.10
稈長 (cm)	76	95
穂長 (cm)	17.7	19.1
穂数 (本/m ²)	467	457
全重 (kg/a)	158	156
精玄米重 (kg/a)	65.1	57.5
同上比率 (%)	113	100
玄米千粒重 (g)	23.4	23.5
検査等級 (1~9)	5.1	6.5
外観品質 (1~9)	5.4	6.7
倒伏程度 (0~5)	0.1	2.7
葉いもちほ場抵抗性	*	やや弱
白葉枯病ほ場抵抗性	中	やや強
穂発芽性	やや難	難



「つや姫」 「コシヒカリ」

注1)調査場所:鳥取農試、調査年次:2008~2011年
 移植期は5月15日で施肥は以下のとおり
 標肥: Nkg/10aで4-2-2(基肥-穂肥I-穂肥II)
 注2)精玄米重、千粒重、等級:1.85mm上
 注3)等級:1(1等上)~9(3等下)、外観品質:1(上上)~9(下下)
 注4)倒伏程度:0(無)-5(甚)
 注5)葉いもちほ場抵抗性判定の*はks、a、i以外の遺伝子を持っているため判定不能であることを示す

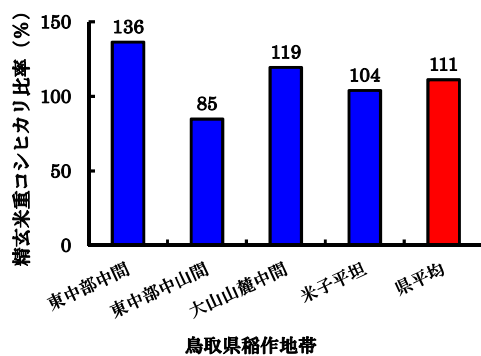
コシヒカリと比較した「つや姫」の特性

- 同熟
- 短穂、穂数並、多収
- 品質はやや良
- 病害抵抗性は優る
- 穂発芽性はやや難:実用上支障無
- 炊飯米は外観が優り総合値は並



「つや姫」 「コシヒカリ」

現地の収量



炊飯米の食味試験結果

表. 「つや姫」の食味官能試験

年次	試験場所	栽植株数	施肥	総合	外観	香り	味	粘り	硬さ
2011年	日本穀物 検定協会	坪50株 坪70株	少肥	0.45 †	0.45	0.20	0.40	0.35	-0.20
			標肥	0.50 †	0.35	0.15	0.45	0.35	-0.05
	農業試験場	坪70株	少肥	0.10	0.55 **	-0.20	-0.05	-0.15	-0.20
			標肥	0.25	0.80 **	-0.15	-0.10	0.15	-0.40 *
2010年	農業試験場	坪70株	多肥	0.10	0.50 *	-0.15	0.15	0.00	0.00
標肥			0.71 *	1.12 **	0.06	0.24	0.47	0.00	
2009年			標肥	0.15	0.35	-0.15	0.00	0.37 *	-0.50 *
2008年	農業試験場	坪70株	標肥	-0.60 **	-0.15	-0.15	-0.35	-0.05	0.15

注1)施肥はNkg/10aで少肥:2-2-2、標肥:4-2-2、多肥:6-2-2、穂肥Iは幼穂長1mm時でIIはIの10日後施用
 (基肥-分けつ肥-穂肥I-穂肥II)。
 注2)**:1%有意、*5%有意、†10%有意、未表記は有意差無(t検定)

図. 「つや姫」の現地試験結果 (2011年)

「つや姫」は、品質および食味を安定させるために、5月下旬移植、栽植株数は坪50株(15.1株/m²)程度までの疎植が可能で、施肥は窒素量で10a当たり、基肥は4kgを上限とし、穂肥 I は幼穂長10mm時施用が望ましい。収穫適期の出穂後積算気温は、約940~1,106℃である。

移植時期

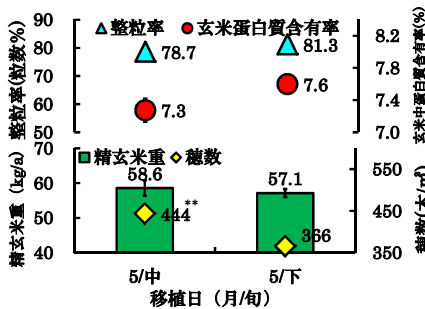
5月下旬移植は、5月中旬移植に比べて、穂数が少なく、玄米中蛋白質含有率は高い傾向であるものの、収量は同等で、整粒率は高い傾向です。

基肥窒素量

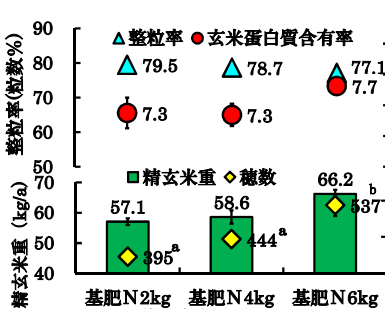
基肥窒素によらず、収量、整粒率および玄米中蛋白質含有率が同等であることから、**基肥窒素量は4kg**が適当です。

栽植株数・穂肥 I 時期

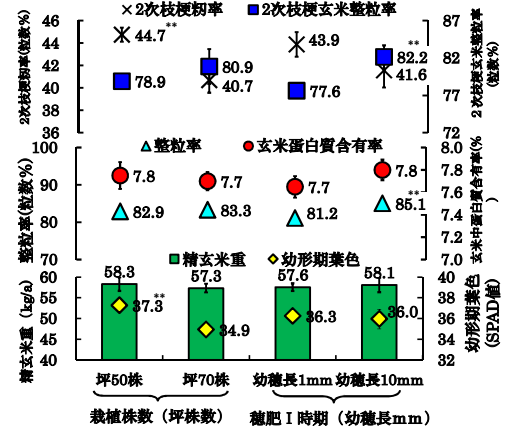
坪50株により幼形期葉色および2次枝梗籾率が上がるが、収量・整粒率・玄米中蛋白質含有率は同等。穂肥 I 幼穂長10mm時施用により、収量・玄米中蛋白質含有率は同等で、整粒率および2次枝梗玄米整粒率が高くなります。



図「つや姫」の作期反応



図「つや姫」の基肥N量による収量等の相違



図「つや姫」の栽植株数および穂肥 I 時期による収量等の相違

収穫適期

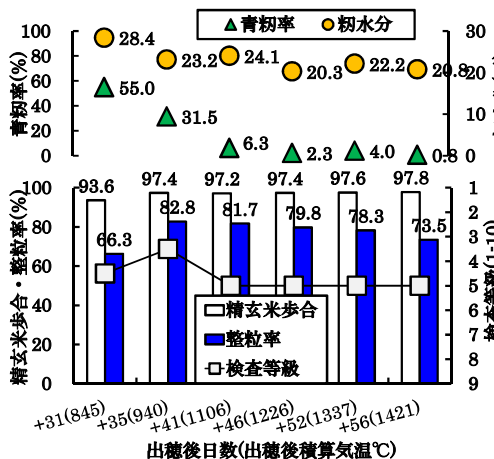
刈取適期は整粒比80%以上の出穂後35~41日で、出穂後積算気温は約940~1,106℃、精玄米歩合は約97%、青籾率は約6~32%、籾水分は約23~24%です。

玄米中蛋白質含有率

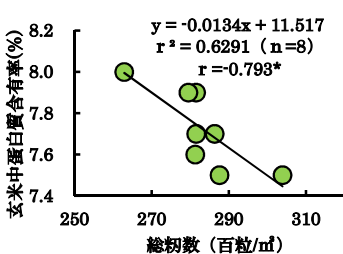
玄米中蛋白質含有率は、籾数増により低下する傾向です。

整粒率

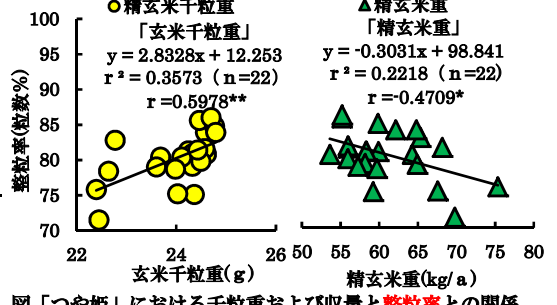
整粒率は、千粒重の増大と収量の低下により向上する傾向です。



図「つや姫」における刈取時期による各要素の推移 (坪50株、穂肥 I 幼穂長10mm時施用)



図「つや姫」における穂数と玄米中蛋白質含有率との関係



図「つや姫」における千粒重および収量と整粒率との関係



図「つや姫」の収穫適期の穂

1. 平成24年産は試験栽培に限る。
2. 平坦地(農業試験場)における、移植時期は5月中旬~5月下旬、栽植密度は16.3~23.9株/m²の試験結果である。
3. 食味向上のために、籾数不足にならぬようにし、整粒率は、粒の充実を図り、収量を適度に抑えることにより向上する。

問い合わせ先：鳥取県農業試験場 作物研究室、電話：0857-53-0721

※ 本書から転載複製する場合には必ず上記に許可を受けて下さい。